

# 平成28年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：イネ・いもち病（No. 3）

平成28年7月8日  
鳥取県病害虫防除所

## 1 情報の内容

一部の地域で葉いもちが散見されている。

今後も、曇雨天が続くことが予想されていることから、ほ場の見回りを行って、いもち病の早期発見に努め、状況に応じた適切な対応を取ることが必要である。

## 2 発生状況等

(1) 7月7日現在、一部の地域で葉いもちが散見されている。

(2) プラストムによる葉いもちの感染好適条件又は準感染好適条件は、6月28日、6月30日及び7月4日に出現した（表1）。したがって、7月5～11日にかけて、新たな病斑が発生する可能性が高い。

(3) 7月7日発表の気象1か月予報によると、期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が多いと予想されており、本病の発生に助長的である。しかし、期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いと予想されており、本病の発生を助長しない。

表1 プラストムによる感染好適日の出現状況

| 日付   | 鳥取 | 青谷 | 岩井 | 智頭 | 倉吉 | 塩津 | 米子 | 境 | 茶屋 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|---|----|
| 6/27 | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | — | —  |
| 6/28 | ○  | ●  | —  | ●  | —  | —  | —  | — | —  |
| 6/29 | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | — | —  |
| 6/30 | —  | ●  | —  | —  | ●  | ●  | —  | ● | ○  |
| 7/1  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | — | —  |
| 7/2  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | — | —  |
| 7/3  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | — | —  |
| 7/4  | —  | —  | —  | —  | —  | ○  | —  | ○ | —  |
| 7/5  | —  | —  | ○  | —  | —  | —  | —  | — | —  |
| 7/6  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | — | —  |

注) ●感染好適日、○準感染好適日

## 3 防除上注意すべき事項

(1) 置き苗は、本田へのいもち病の伝染源となるので、早急に処分する。

(2) 育苗箱施用剤を使用しても十分な効果が得られない場合があるので、ほ場の見回りなどを行い早期発見に努める。

(3) 「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」、「きぬむすめ」などの本病に弱い品種の栽培、窒素肥料の多施用、遅植えなどの条件では特に発生しやすい。

(4) 本田施用粒剤（オリゼメート粒剤等）を使用する場合は、予防防除が基本であり、発生後では十分な効果が得られない。

(5) 本田において上位葉に急性型病斑がみられる場合には、治療効果を有する粉剤、水和剤などを散布し、その後は病勢に応じて追加防除を行う。

(6) 降雨が続く場合でも雨の止み間に防除を行い、適期を失しないようにする（粉剤散布後3時間程度降雨がなければ防除効果は十分にある）。

(7) 本県では、ストロビルリン系薬剤耐性菌が発生しているため、本系統薬剤の使用を控える。

(8) 防除に当たっては、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布作業者の安全の確保に努める。